



◆どんなことができますか？

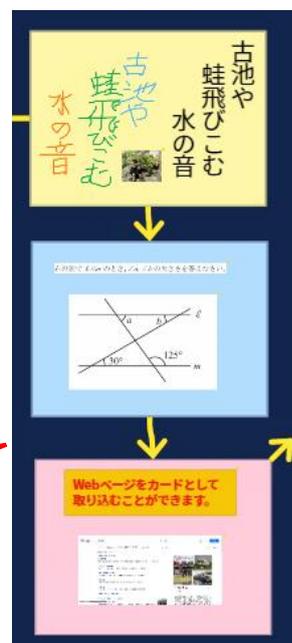
- 1 カードに字や絵を記入したり、写真や動画を取り込んだりして、先生に提出します。
 - 2 1枚のノートに数人がカードを貼り付けるなどして協働学習ができます。
 - 3 カードはつなげることができ、学習記録のプレゼンテーションができます。
 - 4 「シンキングツール」といって、提出されたカードを項目ごとに並べ替えることによっていろいろな考えを広く深く考えることの手助けにします。
- ※ ロイロノートでは、作業するシートを「ノート」、付箋を「カード」と呼びます。

◆どのように使いますか？



- ①カメラ…写真や動画を撮影しカードに取り込みます。
- ②テキスト…カードの色を選び、ノートに取り出します。
- ③Web…Webページを取り込むことができます。
- ④ファイル…保存しているファイルを取り込むことができます。
- ⑤シンキングツール…目的によってカードを配置する背景図です。
- ⑥テスト…アンケートやテストを作成し、回答・解答を集約します。
- ⑦資料箱…カードやノートを保存しておく場所です。
- ⑧提出…完成したカードを先生提出する場所です。
- ⑨送る…カードをクラスのみならず個人に贈る場所です。

カードをつなげることによって、まとめて課題を出したり、提出したり、順番に提示しプレゼンテーションすることもできます。



【活用事例①】



「シンキングツール」の「クラゲチャート」を用いて、源義経の人物像の項目を設定しまとめています。

【活用事例③】



アンケートのフォームを作成できます。自作のアンケートを友だちに問い、新聞の記事にします。別の種類のグラフもあります。

【活用事例②】



調理・工作・絵画等の成果物の写真にコメントを付け、相互に意見を交わし、よりよい作品の制作のための参考にします

【活用事例④】



録音機能があり、演奏やスピーチをカードに記録し先生に提出します。実験の記録など、動画も込むことができます。